



魅力的な図書室運営・読書活動の工夫

富山県 富山市立芝園小学校

基本データ

所在地	富山市芝園町三丁目 1-26
児童生徒数	597人
教職員数	40人
蔵書数	約13,200冊
年間貸出冊数	約33,700冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 魅力的な図書室運営・読書活動を工夫することで、図書室利用を促し、児童が様々な分野の本に触れ、新しいことを知り、心を豊かにする。

取組・活動の概要

(1) 図書委員会の取組

- 本の貸し出し・返却・整理整頓の常時活動の他に、以下のような特別企画を計画・運営している。
 - ① 「本の世界を楽しもう月間」の設定
 - 家庭読書と呼びかけるなど、期間内に学年ごとに決められた冊数の本を読むことに挑戦する。
 - 校内放送で人気の本を紹介したり、たくさん本を読んでいる人のインタビューを放送したりする。
 - 図書委員会の児童がお薦めの本の読み聞かせをする。
 - ② 「ほっこり読書コーナー」の設置
 - 各学年の教室の近くにその学年に応じた本のコーナーを設置する。
 - 図書委員会のお薦めの本や、各学年に合った内容の本を紹介した読書新聞を作成し、掲示する。
 - 様々な分野の本が書かれたおみくじを作成し、来室した児童が引いたくじの本を読んだり借りたりする。
 - ③ 「プラスカード・プラスチケット」の作成
 - お話会に参加した児童に、もう一冊本を借りることができる「プラスチケット」を渡す。
 - 「プラスカード」に10冊借りたスタンプがたまるともう1冊本を借りることができる特典を付ける。

(2) 学校司書の取組

- ① 「本の福袋」の作成
 - 埋もれている名著を中心に選書し、中身が分からないよう包装して貸し出す。



本の福袋

- ② 「お年玉」企画
 - 分類番号を書いた「プラス1チケット」を入れたくじを作成する。3冊本を借りた児童はこのくじを引くことで、「プラス1チケット」に書かれた分類の本を、もう一冊借りることができる。
- ③ 「おにをさがせ」の実施
 - 蔵書の中からおにが登場する本を探し出した児童に、特製しおりをプレゼントする。



おにをさがせ

④ 「この本のココがすき」カード

- 借りた本の好きな箇所を記入する指定用紙を用意し、この用紙を提出した児童に、「プラス1チケット」を渡す。

⑤ 季節の本の紹介や展示

- 1月には、おせち料理や干支に関する本、12月にはクリスマスに関する本等を展示し、飾り付けも四季それぞれを味わい感じることができるよう工夫している。

⑥ 「芝園読書の木」の掲示

- 図書室に掲示した「読書の木」に、貸出冊数100冊ごとに花を一つ掲示する。貸出冊数を可視化することで読書意欲を高める。



小中共用の図書室

⑦ 学年ごとの学習内容に合わせた資料の貸出

- 教科書に掲出されている作品の作者が書いた本やその作品に関わる本、また「総合的な学習の時間」の内容に合わせた本等を、該当学年にまとめて貸し出す。

(3) 学校と図書館ボランティアとの連携

- 休み時間の貸出業務の補助
- 朝活動時の読み聞かせ
- おはなしの会の開催（英語絵本の読み聞かせ）
- 「デコの会」（図書室の掲示物の作成をしている会）の活動（図書室の掲示物の作成）

(4) 学校と朗読家との連携

- 朗読家の鈴木優子さんを年1回招聘し、学年ごとに朗読会を開催し、教科書に掲出されている作品や、学年の発達の段階に応じた詩や物語の朗読をしていただく。

(5) 中学校との連携

- 小中校舎一体型で、図書室は小中共用のため、中学校の蔵書を小学生も利用
- 朝活動時、中学生による読み聞かせ、お薦めの本の紹介



中学生による読み聞かせ

(6) 市立図書館との連携

- 資料の貸出等
- 市立図書館招待や市立図書館からの学校訪問（1・2年生）
- 校外学習での見学や利用（3・4年生）

取組・活動の工夫や特徴

- 児童の本への興味・関心を喚起し、読書意欲を高めるために、くじや福袋、「プラス1チケット」等の特別感を味わえる企画を実施した。
- 朗読家、図書館ボランティア、中学生、図書委員会の児童等、様々な立場の人による読み聞かせを味わう機会を設けることで、それぞれのよさを感じ、読書に対する興味が高まるようにした。

取組・活動の成果や今後の展望

- 朗読家、図書館ボランティア、中学生、図書委員会による読み聞かせや、図書委員や学校司書が企画した取組等によって、児童が今まで積極的に手に取らなかった分野の本を借りたり読んだりするようになった。
- 今後、さらに工夫した企画により、様々な分野の本に親しむ児童が増えていくことが期待できる。